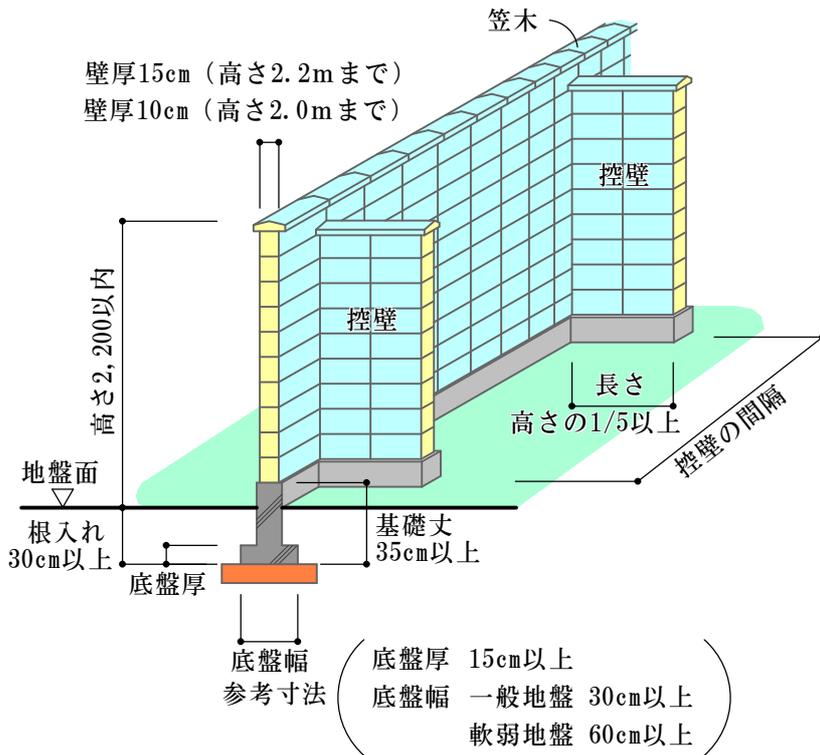
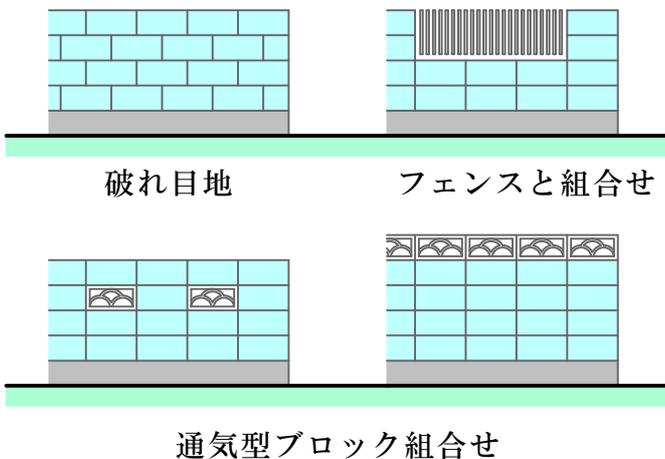


ブロック塀の安全点検ポイント



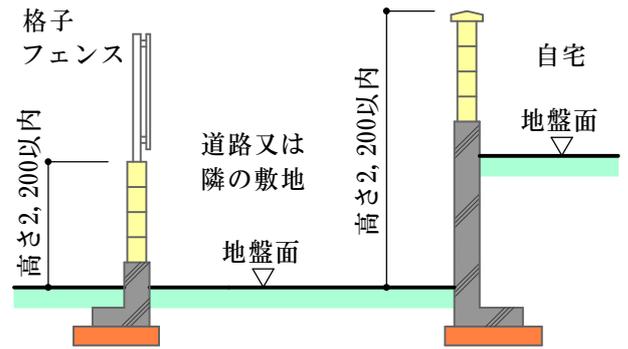
【高さ1.2m～2.2mの塀基準】



【高さ1.2m未満の塀 注意点】

上図は過去の地震で倒壊・破損したタイプです。
破れ目地積み・フェンス組合せ・通気ブロック組合せで
塀の高さが低くても揺れや、地盤沈下で倒壊します。
原因は鉄筋組が不十分・基礎が無い場合があります。
安全な工事をしていますか、ご判断下さい。

※ ブロック壁内部の配筋検査は専門業者へ
まめ知識=ブロックには上下があります。



【高さの測定】

ブロック塀の危険度チェック (高さ1.2m以上)		判定 ○×
高さ	地盤面から2.20m以下	
壁厚	厚さ15cmで高さ2.2m以下	
	厚さ10cmで高さ2.0m以下	
控壁	控壁がある	
	控壁の長さが塀の高さ1/5以上ある	
	控壁の間隔が3.4m以内	
壁 控壁	壁は傾いていない	
	劣化・ひび割れはない	
	鉄筋の錆だれはない	
	笠木(モルタル)破損・浮きはない	
基礎	コンクリート造である	
	根入れ・基礎寸法がある	
	5mm以上のひび割れはない	
	2cm以上の破損穴がない	
	鉄筋の錆だれはない	
	鉄筋は見えない(露筋)	
判定	※ 項目で×が1つでもあれば危険です。	

ブロック配筋基準の紹介 (参考にして下さい)

9mm以上の鉄筋が縦横80cm以内
壁頭部に横筋がある
横筋は縦筋に連結
縦筋が壁頭部及び基礎横筋と連結
(連結=カギ掛又は鉄筋径の40倍以上定着)

※基礎は鉄筋コンクリート造とし、各部寸法
及び配筋については地盤状況を確認して
専門技術者に相談して下さい。

